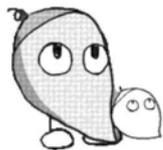


とんがらし通信



餃子フェスSENDAI 2017



No.229



～主な内容～

- ・施設長コラム
- ・夏まつり
- ・活動報告（オープンフェスタ、ジャバいきなりステーキ ほか）
- ・研修報告 ・職員コラム など

仙台つどいの家編集室
発行責任者 山口 収
発行日 2017年9月25日
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町3丁目12-16
Tel 022(293)3751 Fax 022(293)3752
E-mail sendai@tsudoinoie.or.jp
ホームページ <http://www.tsudoinoie.or.jp>



ぐず夏の出来事に思う の巻

今年の夏は覇気がなく、ぐずぐずの残念な気候でしたねー。おかげで利用者さん・職員とも体調を崩す方が続出で、まったくすっきりとしない感じでした。それでも数少ないチャンスを生かして、プールにおまつりにせっせと出かけ、夏を満喫した仙台つどいの家の面々なのでした。

さて、そんな夏の終わりの明け方。目覚ましを停めて『もう少しだけ…』と怠惰な二度寝を貪っていたところを、エリアメールの大きな音で強制的に起こされました。続いて防災無線からおかしなサイレンの音。『何だなんだ』と飛び起きると、それが例の『Jアラート』というやつでした。少し前に聞いていた夏の甲子園の清々しいサイレンと違い、何とも気持ちの底を搔きむしるようなおどろおどろしい不快な音です。とりあえず飛び起きたものの、何をしてもよいか分からず、テレビをつけました。画面では『北朝鮮が飛翔体を発射』したことを伝え、繰り返し『頑丈な建物に避難』『窓から離れて』『姿勢を低くして』…と呼びかけていますが、そこに現実感はなく、何とも力の入らない困った朝を過ごしたのでした。この現代版の空襲警報。実態が見えず、何をどうすればわが身が守れるといったことも分からず、我々国民には現実的に為す術のないやっかいなものに感じてしまいます。何となく、かつて竹槍を振り回し、B29を突き落とすよう強要されていた時代と重なって見えてしまうのは私だけでしょうか。もとより、私などは『ミサイルが飛んで来たら騒いでもどうにもならない』『戦争など始まろうものなら、諦めるよりほかない』と考えているからそう思うのかもしれませんが、小さいお子さんのおられる方などにとっては、それはそれは深刻だと思います。

しかし、であるからこそ、現在のこの動きに必要以上に踊らされることに危険を感じるのです。国は北朝鮮の脅威を煽り、だから『今こそアメリカとの同盟関係をより強固なものにする必要がある』『防衛費を増額して国民の生命と財産を守るのだ』『最新鋭のミサイル迎撃システムの導入が不可欠』という従来の主張に世論を絡めとろうと必死です。状況を注視しながら静観する賢さも持ち合わせないと、政府の思うつぽになりかねないと危惧するのです。

もうひとつ。言い古されたことですが、北朝鮮の核の脅威に対抗する方法としてアメリカの核の傘の下にいるということについて、どうしても矛盾を感じざるを得ません。国内の、ことに沖縄における米軍関連施設の存在と日米地位協定の矛盾は以前も書きました。防衛システムの強化と称し、アメリカから高額な軍用機やミサイルを導入し続ける姿勢も国民にとって納得できるものではありません。しかし極めつけは、今年7月に採択された『核兵器禁止条約』への不参加という暴挙です。これは核兵器の開発や保有・使用などを法的に禁じ、核の全廃と根絶を目的とする国際条約ですが、唯一の被爆国であり、非核三原則を謳う日本が採択に賛成することは大きな推進力になるはずでした。しかし、我が国は世界中が注目する中、採択への不参加を表明したのでした。当然ながらアメリカをはじめとする核保有国は全て不参加でした。これこそまさに強大なアメリカの核の傘に守られた日本の姿の象徴ともいえるものです。さらにさらに。以前から公言していましたが、日印原子力協定が7月に発効したのを受け、インドへの原発輸出が現実味を帯びてきています。核不拡散条約に加盟していないインドに対して、しかも6年前に大きな原発事故を起こした当事国として原発を輸出することがどういった意味を持つのか、よくよく考えてほしいものだと思います。

8月6日・9日には広島・長崎で72回目の原爆の日を迎えました。式典には合わせて5万5千人余りの被爆者・遺族・ご家族が列席しましたが、当然のことながら年々その数は減少の一途をたどっています。72年前の凄惨な様子を直に伝え聞く機会は今後も減り続けます。次代を担う我々が、しっかりと事実を知り、伝え続けていくことが必要だと思います。

(管理者 山口 収)

仙台つどいの家 夏まつり

去る8月5日に仙台つどいの家にて、今回で2回目となる夏まつりを開催しました。今年は空梅雨と思いきや7月中旬からは雨が続き、当日も準備の段階から空には厚い雲・・・そんな不安を抱えながらの夏祭りスタートでした。しかし、徐々に盛り上がっていく会場の空気に、いつの間にか天候の心配など忘れるほど、熱気に掻き立てられていました。



昨年が続いて飲食ブースには夏まつりの定番、焼きそば・焼き鳥・枝豆・フランクフルト・かき氷・ビール etc・・・今年から新たにフライドポテト、ラムネ、酎ハイ、利用者ご家族や職員のご家族から協力を頂いた、焼きトウモロコシにポップコーンなどを加え、大盛況で早々に売り切れてしまうものもありました。他にも子供達のお目当て水ヨーヨー、光るグッズなどの露店も、品数を増やして盛大に行いました。

そして、夏まつりのメインとも言えるステージには、7団体の方々が出演して頂き、場を盛り上げてくれました。『幸町中学校ブラスバンド部』の迫力のある演奏に始まり、幸町市民センター児童館『よさこいSJK』の子供達の可愛らしい踊り。『明成高校ダンス部』によるカッコいいダンスでは、利用者も地域の方も交えて参加型のステージに。アイルランド音楽サークルの『あいりっしゅ』による身体が自然と揺らぐような心地よい音色。仙台白百合女子大学チアリーディング部『VELVETS』のパワフルなパフォーマンス。休憩を挟んで『幸南復興太鼓』による身体に響いてくるような音の波。そして昨年引き続きトリを飾ってくれたスチールパンバンドの『パンダフル』による踊り出すような楽しい空間。静と動を組み合わせた様々なステージを楽しんで頂きました。出演して下さった方々、本当にありがとうございます。



最後まで心配していた雨も降らず、過ごしやすい気温の中で地域の方はじめ本当にかくさんのお客さんにご来場頂きました。仙台つどいの家夏まつりに興味を持って、足を運んで下さったことに感謝いたします。そして夏まつりを開催する為に、ご協力を頂いた方々、不可欠なステージ台を快く借用させて頂いた、『高森市民センター』様には厚くお礼申し上げます。

仙台つどいの家夏まつりは年ごとにどんどんパワーアップしていきます！！利用者ご家族、地域の方のご協力を頂きながら、もっともっと皆さん楽しんで頂き、私たち仙台つどいの家を多くの方に知ってもらいたいと思います。来年の夏祭りも、沢山のご来場をお待ちしております。(記:鈴木恵)

☆オープンフェスタに今年もおじゃましました！☆

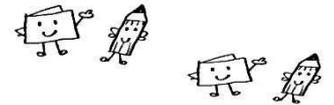
8月26日（土）、横浜市磯子区にある社会福祉法人訪問の家 集（つどい）の「オープンフェスタ2017」に、くるみグループの阿部明日さん、めいぶるグループの大山ゆかりさん、職員2名の計4名でおじゃまし、めいぶるの焼き菓子を販売して来ました。当日は天候が心配されましたが、幸いなことに雨は降らず、フェスタはたくさんのお客さんで賑わい、様々な出店ブースや催し物等で大盛況でした。仙台つどいの家ブースも集のスタッフの方が用意して下さった「新幹線ではるばる来ました！」という人の目を引く手作りのポップのおかげで多くの方が足を止めてくださり、中には仙台出身ということで買って行くお客さまも複数いらっしゃいました。おかげさまで準備した菓子類は短時間で完売となり、暑い中、額に汗しながら販売を頑張った明日さん、ゆかりさんも満足なご様子。販売後はフェスタを楽しみ、ラーメンやかき氷、カフェでのチーズケーキに舌鼓を打ったり、バルーンアートでかわいいクマさんを作ってもらったり、くじ引きで当たりを引いたり、とても楽しい時を過ごすことができました。出店の準備や送迎、その他様々な心配り等、集のスタッフのみなさまには大変お世話になりました。どうもありがとうございました。



帰りは、販売を頑張ったご褒美ということで、「あかいくつ」という周遊バスに乗って、赤レンガ倉庫、中華街、ランドマークタワーなど横浜観光をしてから家路に着きました。とても暑く、汗だくの日でしたが、利用者、職員ともに良い思い出ができ、大満足の横浜日帰り旅行となりました。（記：早坂）

研修報告

リーの会視察研修



8月31日と9月1日の二日間で重症心身障がい者の地域生活を進め支援する会（通称：リーの会）の視察研修で、横浜市にある社会福祉法人訪問の家「朋」・「栄区グループホーム」・「郷」と、社会福祉法人十愛療育会「横浜医療福祉センター港南」に行ってきました。各施設の詳細をお伝えしたいのですが、内容が盛り沢山の為、今回は最も印象に残った事をお伝えします。

それは見学したどの施設にも共通し医療的ケアの需要が多い事です。日々のケアに追われ職員が慌ただしく動いている様子はなく、連携してケアを行いながら、利用者さんのペースに合わせた活動を組んでいました。看護師以外に研修を受けた支援員も医療ケアを実施。対象者は常勤・非常勤の勤務形態に関係なく、利用者さんとの関係性を見極めて行っているそうです。現在は医療的ケアが必要ない方々も、加齢と共に新たに必要となることもあると思います。通所、入所やグループホームなど様々なサービスを使い分けどう利用するのか、若い時から家族や支援する職員等が介護者なき後の生活まで考える必要があるのではないかと考えさせられる研修となりました。

お忙しい中、お時間を割いて案内して頂きありがとうございました。今回学んだことを活かせるよう、これからも様々な事にチャレンジし続けたいと思います。（記：櫻井）



「いきなり！ステーキ」初体験



7月25日にさんしょグループの早川奈津子さん、加藤剛さん、くるみグループの富田樹さんとで、仙台に初上陸した「いきなり！ステーキ」へランチに行ってきました。

いきなり！ステーキは立食スタイルのお店なのですが、奈津子さん、剛さんは初めての経験でした（立食とはいえ、奈津子さんと剛さんは車椅子に座っています）。アーケード内にあるお店へ行くと、さすが人気店だけあって長蛇の列！！美味しい匂いに胸を弾ませながら順番を待ちました。順番が来て、いざ入店。奈津子

さんはヒレスステーキ、剛さんはハンバーグ、樹さんはワイルドステーキを注文しました。みんなで紙エプロンをつけて、ワクワクしながら待っていると、待ちに待ったステーキが到着。奈津子さんは、早速ヒレスステーキを一口食べると、おいしい～！！と手を上げていました。剛さん、樹さんもアツアツのお肉を美味しそうに食べていました。

これまで、活動での外食先として、立食スタイルのお店には挑戦したことがなかったのですが、これを機に外食先のバリエーションが広がったように感じます。どんどん色々な所へ外出して、新たな美味しい物を利用者さんと一緒に探していきたいと思います。（記：佐藤唯）



OH!バンデスに生出演!!



7月31日(月)に、さとう宗幸さんの「おばんです!」の挨拶でお馴染みの番組「OH!バンデス」にもみじグループの鈴木達紀さん、福地璃子さんと出演してきました！仙台つどいの家の活動の発信と、8月5日(土)に行われた夏まつりの宣伝を兼ねた出演でした。

当日は「いよいよ本番だね～」と皆に声を掛けてもらい、ドキドキとワクワクが入り混じったような表情を浮かべていました。身支度を整え仙台駅前へ。マイクを持ったリポ-

ーターやカメラマン、「生中継しています!」の看板を前に、職員の緊張感は最高潮に…(笑)そんな職員の心配を差し置き、2人は堂々と宣伝をしてくれました。終わりにはお互いの顔を見つめてニッコリ笑顔(◡̈)!お迎えにきたお母さんにもたくさん褒めてもらい、とっても嬉しそうでした。宣伝効果はばっちり、夏まつり当日は大盛況でした。このテレビ出演をきっかけに、仙台つどいの家のことをより多くの人に知ってもらえたら良いなと思いました。視聴していただいた皆さん、ありがとうございました！（記：伊達）



本番前の1コマ…

こすもす会コンサート

9月4日月曜日、秋の風が心地よい午後にごすもす会というコーラス団体を招いてコンサートを開催しました。こすもす会は若林地域を中心に活動している有志のコーラス団体です。

コンサートでは昭和から平成の童謡やJ-POPなど幅広いジャンルの曲を一緒に踊ったり、歌ったり、中には前に出て指揮をする利用者さんもあり、それぞれ自分のスタイルで楽しんで

いました！合間のトークも利用者さん

を巻き込んだとても楽しいトークで終始笑いの絶えないコンサートでした！！素敵な歌声と楽しいトークでとても素敵な時間を共有することができました。

こすもす会の皆さん、素晴らしい歌声を本当にありがとうございました☆また素敵な歌声を聴けるのを楽しみにしています！（記：今川）



職員コラム

今年の6月12日、私にとって大きな出来事がありました。応援していた女性アイドル「℃-ute（きゅーと）」の解散です。2005年に結成、2006年のインディーズデビューを経て2007年にメジャーデビューしたアイドルです。私がファンになったのは2011年だったので6年間、12年のうちの半分でしたが、たくさんの思い出ができました。ライブへ行ったり、握手会へ行ったり、サイン会にも行きました。仙台でのライブには基本的に観に行き、仙台でのライブがない時でも行きたい！と思ったら日曜日に日帰りで大阪のライブに行ったりもしていました。今ではいい思い出です。

また、℃-ute を通してたくさんの人との出会いもありました。仲良くなった人と一緒にライブへ行ったり、ライブが終わったら一緒にご飯を食べに行き、ライブの感想を語り合うということもありました。そんなファン同士の交流の時間も私はとても好きでした。その繋がりは今後も大切にしていきたいと思っています。

6月12日はお休みを頂いて、さいたまスーパーアリーナで行われたラストコンサートへ行きました。感想を書くと長くなるので書きませんが、メンバーは涙をほとんど見せず、笑顔の多いラストコンサートでした。解散からしばらく経ちますが、まだまだ℃-ute ロスから抜け出せそうにありません。℃-ute と同じくらい夢中になれるものをこれから探していきたいなと思います。

（記：佐藤絵）



元就さんと、ぶらり旅♪

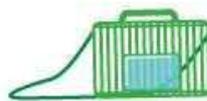
7月28日に阿部元就さんと杜の都ふれあいコンサートに初めて1日外出に行ってきました。行先が街中という事もあり、元就さんの行動を予測していくのが難しく内心ドキドキでいっぱいでした。着いてすぐに昼食を食べて目的地を目指しましたが、場所を誤っていて戻ろうとしてもなかなか戻れず、元就さんが行きたい方向を指差していたのでそのまま付いて行こうと決心しました。一番町から駅前を行き来しながら、元就さんの思うままにぶらり旅を続けていましたが、降所時間が近づいてきて「帰ろう」と伝

えると、まだ「帰りたくない」と身体を使った表現があり、なかなか帰路につけませんでした。携帯を片手にどうしようかと頭を抱えていると、目の前にバスが！！元就さんも見ていたので、そのまま飛び乗る事に成功しました。先が見えずに色々不安に思う事もありましたが、一緒にぶらり旅をしたことで元就さんの事を少し知れたかな、仲が縮まったかなと、嬉しく思えた楽しい外出でした。(記：菅澤)



～「山形」「夏」「フール」～

皆さん、夏と言えば何を思い浮かべますか？そう、もちろんプールですよね。というわけで、もみじ、けやき、くるみの利用者さんたちと、山形市にある「馬見ヶ崎プール ジャバ」に行ってお参りました。高速に乗って、いざジャバに！ 外の景色を見ながら、利用者さんもウキウキです。ところが、到着するとあいにくの雷。屋外のプールが使えない。どうしよう！どうしよう！でも、使えないのはしょうがないので、とりあえず腹ごしらえ。カレーやラーメンを美味しく頂き、お茶を飲んでくつろいでいると、日頃の行いの賜物か！！太陽が顔を出してくれました。万歳、万歳。というわけで、午後は、屋外の波の出るプールやウォータースライダーなどスリリングなアトラクションをめいっぱい楽しみ、利用者の方々もニコニコでした。監視員の方も優しく、ウォータースライダーに並んでいた陽平さんの順番を守って、前に入ろうとしていた子供を注意してくれたり、望さんに浮輪の乗り方を丁寧に説明してくれたり、世の中は優しさで満たされていますよね。夏最高！プール最高！山形最高！今度は、山形に蕎麦でも食べに来たいですね。(記：高根)





スケジュール schedule

10月

- 5日(木)ケース会議 13:30 降所
- 11日(水)無線訓練、チーフ会議
- 12日(木)生け花①
- 14日(土)仙台つどいの家バザー
- 16日(月)バザー振休
- 19日(木)施設懇談会、音楽療法①
- 20日(金)職員会議
- 21日(土)休日開館日(親子クッキング)
- 24日(火)ケース会議 13:30 降所
- 26日(木)生け花②、音楽療法②
後援会共催上映会
- 30日(月)アートの日

11月

- 1日(水)法人防災訓練
- 8日(水)チーフ会議
- 9日(木)音楽療法①
- 10日(金)無線訓練
- 18日(土)法人設立 25周年記念イベント
- 20日(月)施設懇談会
- 21日(火)職員会議
- 23日(木)チャリティーコンサート
- 28日(火)チーフ会議
- 29日(水)ケース会議 13:30 降所
- 30日(木)音楽療法②

ご協力ありがとうございます

ボランティアとして協力して頂いた皆様

(7月14日～9月13日まで)

吉田さん、シルビアさん、正司さん、寺元さん、有本さん

実習生

夏のボランティア体験：遠藤さん、

介護等体験実習：小松さん、岩淵さん

明成高校実習：丹野さん、菊地さん、佐々木友香さん

レスパイト実習：渡邊海帆さん

見学・来訪者など

生け花：濱谷さん、音楽療法：向井田さん・菊池さん、りらくらぶ、こすもす会、あさみどりの会、幸町市民センター：千田さん、市社協宮城野区事務所：丸田さん、アポプラス：穴戸さん、松尾けんこうクリニック：松尾先生、日本環境衛生研究所、ジェイシーアイ：瀬戸さん、東京サラヤ、アドフォート、見学：菅野さん、志村さん、今庄青果、マルキ水産、マルイ、サトー商会、鈴木米穀、ダスキン、フラッツ 102 コンフォート、ホシザキ東北、東芝、日立キャピタルオートソース、バイタルネット、青葉区障害高齢課：金子さん、宮城野区保健センター：歯科医師菅野先生、歯科衛生士酒井さん、早坂さん、アプリミントグループの皆さん、日本テクノ：安田さん、幸町中学校：横澤さん、風の郷工房、NPO法人ふうどばんく AGAIN：小椋さん、仙台大気堂：田村さん、国見はげみホーム：鶴谷さん、ホープすずかけ：水戸さん

法人職員：藤井、檜山、今野、堀内、佐吉、渡邊、折原、児玉、大累、廣島、佐伯、佐藤(靖)、佐藤(亜)、宮川、島田 他多数 (以上、ご芳名順不同)

缶回収

8月の納品額

合計 6,417 円でした。

ご協力有難うございました。



編集後記

今年の夏は、雨が多く降り気温の差が激しい日々が続きましたね。みなさんは、どんな夏を過ごしましたか？ 私の2017年の夏と言えば「カキ氷の夏」でした。特に、日光市で食べた「天然カキ氷」は、ふわふわな食感で、頭がキーンとなることなく、何個でも食べられちゃうほどの美味しさです(^_^) 並んでも食べられなかったカキ氷もあるので、来年リベンジしたいなあ～。(庄子)